

市議会だより No.43

平成28年11月15日



防府市民の誓い

わたくしたちは、ゆたかな自然にめぐまれ、はるかな昔から文化が開けていた歴史のまち防府市を愛し、ともになかよく、みんなの力でさらにのびゆくまちをつくることを念願して次のことを誓います。
(昭和38年9月制定)

- 明るいまちにいたしましょう
- 豊かなまちにいたしましょう
- 健やかなまちにいたしましょう

議会だよりでは、防府市制施行（昭和11年8月25日）80周年にあたり、毎号の表紙に関連写真を掲載しています。今号は、8月25日に市公会堂で挙行された記念式典において、代表児童と参列者全員で「防府市民の誓い」を朗読した場面を掲載します。

9月定例議会

議案の概要 P2～P3
一般質問 P4～P7
一般・特別会計決算特別委員会の報告	... P8
上下水道事業決算特別委員会の報告 P8

特別委員会等の報告 P9
市議会の役割P10～P11
議会日誌 P12
12月定例議会の予定 P12

議会中継（ライブ・録画）がホームページで見られます!! **防府市議会** で検索

平成28年

9月 定例議会

9月定例議会は、9月1日から10月3日までの会期33日間の日程で開催されました。

平成27年度一般・特別会計及び上下水道事業決算の認定、平成28年度一般・特別会計補正予算をはじめ、山頭火ふるさと館設置及び管理条例の制定など、議案20件、推薦1件、選任1件、報告9件、認定2件を審議しました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」は、P3をご覧ください。

人事

■人権擁護委員候補者の推薦

再任 門田美和子さん(大字上石田)
再任 中谷加代子さん(大字伊佐江)
再任 上田和義さん(八王子一丁目)
再任 桑原正文さん(鞠生町)

■教育委員会委員の選任

再任 村田 敦さん(今市町)

一般議案

■市道新橋阿弥陀寺線(今市地区)自治体管路工事(電力系)の委託契約の一部変更

工事費の精算、管路延長の延伸による工期延長の設計変更に伴い、契約金額を変更するもので、変更後の金額は、56万4千800円減額の1億7,566万2千円です。

■山頭火ふるさと館建設(建築主体)工事請負契約の一部変更

現場状況等の見直しによる工期の延長、交通誘導員を常駐させる等の設計変更に伴い、契約金額を変更するもので、変更後の金額は、632万7,720円増額の2億6,714万7,720円です。

■個人番号利用事務系パソコンほか一式の取得

個人番号利用事務系のネットワークで

使用するパソコンの整備のため、パソコンほか一式ソフトウェアを280台購入するものです。契約相手は㈱常盤商会で、契約金額は3,612万6千円です。

■CD-1型消防ポンプ自動車(水槽付)の取得

消防力の維持強化を図るため、購入するものです。契約相手は㈱防府藤中ポンプ店で、契約金額は3,223万8千円です。

条例

■山頭火ふるさと館設置及び管理条例の制定

郷土出身の俳人種田山頭火を顕彰するとともに、関連資料の収集、保管及び展示により、その調査、研究に資し、市民の教養や文化の向上、地域振興に寄与する山頭火ふるさと館を設置し、その適正な管理について規定を定めるものです。

■基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正

ふるさと納税制度により本市に寄せられた寄附金を適切に管理運用し、寄附者が選択した事業に要する経費の財源として活用するため、新たにふるさと応援基金を設置するものです。

■市税条例等の一部改正

地方税法等の改正に伴い、市税条例、市税条例等の一部を改正する条例について

て、所要の改正等を行うものです。

■障害児通所支援施設設置及び管理条例の一部改正

防府市なかよし園が、平成29年4月に障害児通所支援施設から児童発達支援センターへ移行することに伴い、利用定員を20人から30人へ増やす等の改正を行うものです。

■議会委員会条例の一部改正

常任委員会の所管の見直しに伴い、所要の改正を行うものです。

予算

■平成28年度一般会計補正予算

2億7,456万6千円を増額し、補正後の予算総額を433億3,160万9千円とする予算案が提出されました。主な事業(補正額)は次のとおりです。
・ふるさと寄附金推進事業
寄附金の増加に伴う返礼品に係る関係経費 (541万円)

・老人福祉施設整備補助事業

既存介護施設等のスプリンクラー整備に係る交付金 (111万1千円)

・社会福祉施設整備補助事業

小野保育園、認定こども園の鞠生幼稚園の保育機能部分の整備に係る補助金等 (3,355万6千円)

・畜産振興対策業務

産地競争力強化を図るための機械施設等の整備補助金

(32万4千円)

- ・企業誘致推進事業
- 工場等設置奨励条例に基づく雇用・用地取得に係る奨励金

(5,179万2千円)

- ・有形民俗文化財保存修理事業
- 海洋民俗資料収蔵庫の建替経費

(1,436万5千円)

■平成28年度特別会計補正予算

競輪事業外5つの特別会計補正予算を原案のとおり可決しました。

決算

■平成27年度一般・特別会計決算

一般会計では、「市民の生活環境、福祉、教育への予算配分が不十分である。住民への管理・統制強化につながるマイナンバー制度導入のための事業について、予算審議で反対したものが執行されている。」、国民健康保険事業特別会計では、「所得の1割を超える保険料について、一般会計からの繰入により軽減を図るべき。」、介護保険事業特別会計では、「保険料が、平成26年度に比べ約15%の値上げとなり負担が重い。」、後期高齢者医療事業特別会計では、「2年ごとの保険料見直しで高齢者の負担が増えた。」などの反対意見がありました。賛成多数により認定されました。(賛否No.1)

■平成27年度上下水道事業決算

「市民の基本的なライフラインである

水道の施設運転管理等業務が民間委託されることについて、予算審議で反対したものが執行されたことから「反対」との意見がありました。賛成多数により認定されました。(賛否No.2)

決算特別委員会の報告については、P8をご覧ください。

報告

■行政情報システム一式賃貸借契約

契約相手 N E C キヤピタルソリューション(株)、日本電気(株)山口支店
 契約期間 平成28年6月29日から平成34年3月31日まで
 契約金額 2億8,578万円

■市有地の売却

国土交通省による一般国道2号改築(富海拡幅)工事の施工に当たり、道路用地として、本市の土地を国に売却う契約を締結したものです。契約金額は、4,661万2,618円(物件移転料、損失補償金を含む。)です。

■公共下水道防汚浄化センター長寿命化(第二期)工事委託に関する協定

契約相手 日本下水道事業団
 契約期間 平成28年7月1日から平成30年3月31日まで
 契約金額 3億1,350万円

■コンビニ交付サービスシステム賃貸借契約

契約相手 富士ゼロックスシステムサービス(株)営業本部公共システム営業事業部西日本支店
 契約期間 平成28年8月5日から平成34年6月30日まで
 契約金額 3,630万円



■中関小学校仮設教室賃貸借の変更契約

仮設教室の設置日変更に伴い、貸付期間の短縮により、契約金額を変更しました。
 契約相手 日東工営(株)九州支店
 契約期間 平成28年1月28日から平成30年10月31日まで
 契約金額 1億3,487万5,101円(変更前 1億3,543万2千円)

— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否No.	平成28年9月定例会	党派・議員名(※議長は除く)																		賛否の合計	議決結果									
		自由民主党 一心会			和の会			絆			公明党			日本共産党			改革の会													
		上田	橋本	松村	安村	行重	吉村	今津	清水	田中敏	中林	平田	藤村	安藤	河杉	三原	山田	高砂	山下			山根	木村	山本	和田	田中健	久保	賛成	反対	
1	平成27年度一般・特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	3	認定	
2	平成27年度上下水道事業決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	1	認定

※賛否が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない議案等は、全会一致で可決しました。
 ※安藤議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

Q&A

一般質問



9月定例議会では、11名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を12月に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

地域づくり一括交付金制度導入について

吉村 弘之(自由民主党一人心会)

問 新たな地域コミュニティ組織の構築の進捗は。

市長 地域が一体となり、自主的な地域づくりに取り組む機運の高まりがみられる小野地域と富海地域で、平成27年度から県立大学サテライトカレッジ「みんなで地域づくりを考えよう」を開設。組織づくり、人材育成の支援を行っている。

問 新たな組織構築のスケジュールは。

総合政策部長 先進事例をみても、行政からの押しつけでは上手くいかない。まずは、富海地域などのように地域づくりの機運が高まっている地域をしっかりと支援したい。

問 自治会に対する既存各種補助金の要望に対する対応は。

市長 県内他市の状況などを参考に、必要に応じて見直しを行っている。また、市民の意見に耳を傾け、様々な要望に対応

している。

問 地域コミュニティに対する使途を限定しない一括交付金制度導入について

市長 個性を生かした地域づくりが可能になるが、交付金の適正な管理、公平かつ民主的な配分が求められるという課題もある。地域の皆様から懸念される意見を多数いただいたしており、現段階で導入は難しい。

その他の質問項目

◆「日銀のマイナス金利政策による市財政への影響」について



地域の拠点となる公民館

高齢ドライバーの事故防止について 土木整備事業について

山根 祐一(公明党)

問 高齢ドライバーが運転免許証を返納した場合の支援制度はどうか。

生活環境部長 山口県警察で、自主返納された65歳以上の方に運転経歴証明書を交付する制度がある。また、タクシー料金の割引、施設や店舗での割引制度がある。

問 地方では車が手放せない人も多く、元気な高齢者に安全に乗ってもらう方法を考えるべきであろう。

香川県では、高齢ドライバーの事故防止対策として、自動ブレーキやペダル踏み間違い対応装置などを装備したASV自動車を購入する場合、3万円の購入補助制度がある。本市でも取り組んでいる。

生活環境部長 香川県では一定の効果が出ていると承知している。国は平成26年10月から、一部の軽自動車を除き、新たに生産される自動車への安

全装置を義務化している。これを踏まえ、調査研究していく。

問 佐波川桜本・桜つづみ公園等の整備進捗は。

市長 公園の一部オープンに続いて、トイレ、健康遊具等を設置する。平成29年度は、右岸にトイレや広場、駐車場を整備する。

問 市道新橋牟礼線築業事業の進捗状況は。

市長 防府環状線西側から花木センター区間は、地権者27人中11人との買収契約が完了している。

問 県道戎町迫戸線整備事業の進捗状況は。

市長 平成28年度中に車道舗装が終了し、右折レーンが完成、これにより交通渋滞の緩和が期待できる。平成29年度に電線の入線・電柱の撤去、歩道舗装を行い、完成の予定。



避難所や市役所に防災トイレを 乳がん・子宮がん検診の受診を

高砂 朋子（公明党）

問 ①市防災会議、避難所運営等における女性の配置状況は。②防災倉庫の設置状況、備蓄物資の点検と補充状況は。もっと新しい情報を取り入れて備蓄の更新を。③災害時において、停電、断水、汚水処理施設の損傷等で水洗トイレが使用できない状況も考えられる。排泄は待ったなし。マンホール、下水道直結型マンホールトイレを小・中学校等の主な避難所や市役所に早急に設置すべきでは。

市長 ①市防災会議の委員数は37名、その内9名が女性。災害時、初動対応の避難所等の担当職員数は100名、その内34名が女性。②防災倉庫は、市内小・中学校26力所と本庁舎に設置。年1回巡回し、適宜補充。新製品等の情報収集を行い、女性の視点も取り入れ充実に努める。③現在、マンホールトイレは潮彩市場



◆女性の健康支援
要望 乳がん、子宮がんを患う女性は年々増加傾向にある。早期発見・早期治療のために検診受診率向上の更なる取組を。休日・夜間検診等、働く女性が受診しやすい体制を。若い女性の乳がん検診の啓発を。



マンホールトイレ

その他の質問

問 沖縄・辺野古の新基地建設のために向島の土砂を運搬し、埋立に使う計画があります。作業で土砂が海へ流出することにより、漁業被害が懸念されませんか。

市長 現在、岩石採取は行われていません。現地で作業が行われる場合は、県と連携して採石法を遵守し、適正に実施するよう指導します。

問 天然記念物向島タヌキ生息地に影響はないですか。

市長 岩石採取の範囲は、タヌキ生息地保存管理基本計画に合うものですが、大きな状況変化があれば、現地確認をします。

沖縄への土砂運搬・戦争体験の継承 学校図書館ネットワーク

田中 健次（市民クラブ）

問 平成28年9月スタートの「ほうふ幸せます人材バンク」の戦争体験を話される方の登録情報を学校に積極的に提供します。

問 学校図書館ネットワークが平成28年度に整備されますが、学校間や市立図書館と学校とで図書を送る物流システムが必要になりませんか。

教育部長 市立図書館と学校図書館を結ぶ図書館ネットワークは県内初で、平成29年1月稼働に向け準備しています。ネットワーク稼働後は、図書の移動冊数増が予想され、図書宅配の割合を増やすなどの対応をします。



学校図書館

問 過去10年以上にわたって「交通弱者」の足の確保の問題を一貫して取り上げてきたが、今日に至るまで抜本的な解決には至っていない。ところが、平成26年に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が改正され、地方公共団体は地域公共交通形成計画を策定することができるようになった。「公共交通ネットワーク全体を一体的に形作り、持続させることを目的」とし「地域全体の公共交通のあり方」を定め「面的な再構築を行う」というこの計画こそ、我々が長年求めてきたものだ。



岡山県総社市のデマンド交通「雪舟くん」

法改正は大きなチャンス 事業者をまき込んで公共交通網の確立を

木村 一彦（日本共産党）

問 過去10年以上にわたって「交通弱者」の足の確保の問題を一貫して取り上げてきたが、今日に至るまで抜本的な解決には至っていない。ところが、平成26年に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が改正され、地方公共団体は地域公共交通形成計画を策定することができるようになった。「公共交通ネットワーク全体を一体的に形作り、持続させることを目的」とし「地域全体の公共交通のあり方」を定め「面的な再構築を行う」というこの計画こそ、我々が長年求めてきたものだ。

市長 バス事業者の側にも、今のままでは事業自体が先細りになるという危機感がある。計画づくりにあたっては、事業者にもパートナーとして参画してもらい、既存バス路線とデマンドタクシーや市中心部の循環バスの実証運行、タクシールによる外出支援の拡充など、さまざまなシステムを有効に組み合わせる各地域に最適な公共交通ネットワークの形成に取り組みたい。

問 交通システムを導入すると既存バス路線が影響を受けるという抵抗があるようだが。

市長 バス事業者の側にも、今のままでは事業自体が先細りになるという危機感がある。計画づくりにあたっては、事業者にもパートナーとして参画してもらい、既存バス路線とデマンドタクシーや市中心部の循環バスの実証運行、タクシールによる外出支援の拡充など、さまざまなシステムを有効に組み合わせる各地域に最適な公共交通ネットワークの形成に取り組みたい。

特定健康診査の受診率向上について 歯科健診に取り組んで

河杉 憲一(絆)

問 国の法改正により、平成30年から、国民健康保険事業の運営は県に移行されるが、現在の国保財政の状況と課題は。

市長 平成27年度の特例会計決算では、実質単年度収支は約2億3千万円の赤字となっており、また保険給付費は約92億1千万円で歳出の約6割以上を占めている。最近3年間では、平均1億8千万円増加している。今後は、医療費の増加をいかに抑えるかが課題である。

問 特定健康診査・特定保健指導の現状は。また、受診率向上に向け、今後の取組は。

市長 特定健康診査・特定保健指導は、生活習慣病の予防であり、医療費を抑制する有効な方策であると認識している。特定健康診査の平成27年度の実施率は29%、特定保健指導は11.4%となっており、実施計画の最終

年度である平成29年度の共通目標率60%の達成は厳しい状況である。そこで、今年度から受診の自己負担額を1,000円から500円に引き下げ、利用しやすくした。

問 歯周病の予防のため、歯科健診事業に取り組んで。

市長 歯周病とメタボリックシンドロームとの相関関係が指摘されている。他市の実施状況を参考に調査研究していきたい。

要望 特定健康診査、特定保健指導、歯科健診は病気の早期発見、早期治療に繋がる。そして、受診率を向上させることにより、市民の健康を守る。同時に医療費の抑制にも繋がる。今後、医師会の協力を仰ぎながら、よく連携を図られて市民のために鋭意取り組んでいただきたい。



介護保険制度について 店舗リフォーム助成制度の予算増を

山本 久江(日本共産党)

問 介護保険の制度変更により、要支援1・2の人の訪問介護と通所介護を介護保険給付の対象からはずし、平成29年4月1日までに自治体の総合事業に移行することが求められている。介護保険が始まって以来の制度全般に関わる重大な内容を言っているが、防府市の新しい総合事業の基本的な考え方と実施に向けての取組状況はどうか。

健康福祉部長 要支援者自身の能力を最大限に活かしたサービス、住民等の多様な主体の参画による多様なサービスを充実させることも、地域の支え合いの体制づくりを進めていくため、高齢者のニーズや、介護事業所及び地域の実情を的確に捉えることが重要だと考える。平成28年9月中旬に事業内容を決定し、高齢者保健福祉推進会議に示し、その後介護事業所等

に対する説明会を実施する予定である。

問 平成27年度の制度改正で一定以上の所得がある65歳以上の人の負担割合が1割から2割となったがその影響はどうか。

健康福祉部長 平成27年7月末日の要介護認定者6,867人のうち2割負担になったのは566人。制度改正の趣旨等、丁寧に説明したい。

問 若者の新規雇用に積極的に取り組む事業所への支援についてどう考えるか。

市長 中小企業基盤整備機構が運営する「中小企業大学校」の研修費の一部を支援できないか検討に入っている。

問 店舗リフォーム助成制度は好評で受付初日で予算到達した。予算増額を求めたいがどうか。

市長 新年度予算で補助金の増額を検討したい。実施時期も工夫したい。

医療費削減の方策について

清水 浩司(和の会)

問 かかりつけ医の必要性の意味から、小野地区に村上医院の跡地を利用した医院が開業できないか。

市長 国の「社会保障審議会医療部会の意見書」では、かかりつけ医について、「国民が身近な地域で日常的な医療を受けたら、健康の相談ができる医師として、国民にわかりやすく普及・定着を図る必要がある。」等の記述がされている。本市としても、かかりつけ医の必要性は理解している。しかし、診療所の設置については、維持管理費が必要になることや医師不足から困難な状況である。平成29年からの新しい介護予防事業や交通弱者の生活交通施策と併せ、研究してまいりたい。

問 健康ポイント制度を導入する考えはないか。

市長 防府市では平成27年10月から県が始めた

「やまぐち健康マイレージ事業」を、防府市独自の事業「幸せます!みんな健康やかチャレンジ」と称して行っている。この事業は、健康寿命の延伸を図るため生活習慣病の予防やライフステージに応じた健康づくりを目的とした企業と行政の連携による健康マイレージ制度である。健康づくりに取り組むことでポイントを獲得でき、一定以上のポイント取得者には県内の協力店で使用できる特典カードが発行される。市としても、ご協力いただける店舗や事業所を増やすことにより、「幸せます!みんな健康やかチャレンジ」を更に魅力あるものにする。同時に、ポイントのあり方についても研究してまいりたい。

向島運動公園東側にトイレの設置を 市住の未納家賃は保証人から徴収を

三原 昭治(絆)

問 向島運動公園グラウンド内は西側しかトイレがなく、随分と距離もあり間に合わない状況だが、東側にもトイレの設置を。

土木都市建設部長 3月、4月の花見シーズンには、管理棟横に仮設トイレを2基設置し対応。

問 花見シーズン以外でも、スポーツを楽しむ人でトイレの浄化機能がパンクし、業者を呼んだこともあるそうだ。また、人

生記念の森は異臭も漂うとのことだが、トイレを設置して対応すべきでは。

市長 環境面の整備は、可能な限りやらなければいけない。

問 市営住宅の家賃滞納者に対して、明け渡しを求め、提訴措置などが後を絶たないが、抜本的な対応を講ずるべきでは。

土木都市建設部長 平成27年度から公営住宅管理システムの導入と支払督促制度による滞納家賃の

徴収を取り入れ、対応している。

問 提訴件数110件の提訴にかかった費用と未納家賃額、徴収状況は。

土木都市建設部長 費用は約2,600万円。未納額は約1億2600万円。うち徴収額は約1,230万円。

問 入居条件で連帯保証人を付けることになっているが、未納家賃については保証人から徴収すべきだが、状況は。

土木都市建設部長 明確な数値は把握できていない。

問 共益費について、支払わない入居者の分を支払っている方が負担しているという不条理な実態について、以前、市は厳正対応が責任との答弁だったが、答弁には責任を持つべきでは。

土木都市建設部長 管理人から連絡があれば、指導を行う。

安心・安全・美しいまちづくりについて 市営住宅について

和田 敏明(改革の会)

問 道路上の雑草の現状に対しては、危機感を強く持ち対応を検討中とのことだったが、どのような検討が行われたのか。

市長 様々な分野の皆様から多彩な意見・提言をいただける「安全で美しいふるさとづくり市民会議」一立ち上げの準備をしている。新たな対策として恒常的に除草が必要な市道の路肩にコンクリートを張ることを検討している。

要望 自治会に予算を付けるなど、協力を得やすい状況をつくってほしい。

問 民地から道路上にみ出した雑草の除去についても、市内で連携をとり対応してはどうか。

土木都市建設部長 空家に関する部署等と連携をとり対応する。

問 公園の利用について、ゴミが放置され地域の方々が処理されているようだが、このような状況

が続くのであれば、ゴミ持ち込み禁止を促す立て看板が必要ではないか。

市長 多くの公園にゴミ箱を設置したが、家庭ゴミが持ち込まれゴミ集積場のような状態になったため撤去した。

土木都市建設部長 立て看板設置の検討及び利用者のマナー向上を訴えてまいる。

要望 市営住宅の既存入居者の不満の声が絶えない。入居時の説明と管理をしっかりとしてほしい。

問 例えば、向島小学校は存続が危惧されている。人口減少が進む中、社会や地域の状況に合わせた募集要項の見直しが必要ではないか。

土木都市建設部長 廃校を作らないために、何としても現状を打開しなければならぬ。優先枠の募集方法を見直し、地域の状況に合った募集ができるよう検討したい。

新市庁舎の移転について

中林 堅造(和の会)

問 庁舎基本構想・基本計画検討委員会の報告内容と、その後の市の取組について

市長 市制施行100周年を迎える20年後には誇りある庁舎が街の中に象徴的に溶け込み、市の安全・安心と発展の拠点となっているものと考えている。委員会では構想・計画策定のために用地選定が必要であることから協議

いただき、そのまもられたご意見に責任の重大さが感じられる。ご協議を無駄にすることなく、十分に役立てていく。委員会では選定された「駅北公有地エリア」を建設候補地として案を作成、平成29年1月にパブコメを実施、地元説明会やシンポジウムを開催し、平成28年度中に基本構想・基本計画を策定。「駅北公有地エリア」が建設地として定められた際には、庁舎の具体的な移転に取

り掛かることになる。

問 庁舎跡地利用について

市長 公共施設の再配置などを含めた重要な課題となる。土地保有の上で公園や緑地、福祉施設等の公共益目的、集客的施設としての民間活用など公共施設マネジメントの視点を加えて検討する。

問 現庁舎跡地利用の選択肢の一つとして、右田大崎の県立総合医療センターの移転招致は考えられないか。竣工以来33年目、庁舎移転時には45年経過していることになるが。

市長 あらゆる行政の知恵を絞ることは大事。慎重に進めていく。病院の経営に物を言う立場になる。



一般・特別会計決算特別委員会の報告

(9月21・23・26日開催)

■一般会計(総務委員会所管)

「防災土養成講座委託業務について、この制度を利用した資格取得者の目標人数とこれまでに資格を取得した人数は何人か。」との質疑に対して、「自治会や各消防団から推薦された人を対象に、平成25年度からの5年間で3000人の資格取得を目標としており、これまでの3年間で141名の方に資格取得していただきました。」との答弁がありました。

また、「山頭火ふるさと館整備事業について、購入した展示資料等の内訳と、購入先はどのようなか。」との質疑に対し、「購入した資料の総数は約200点で、その内訳は、掛軸10点、短冊60点、色紙20点、手紙など10点、その他の作品が100点程度となっております。」「レクターの方や古書店が主な購入先となっております。」「との答弁がありました。

■一般会計(教育厚生委員会所管)

「生きがい活動支援事業については、予算執行率が35%程度に留まっています。現状の分析と今後の方向性はどうか。」「との質疑に対し、「利用実績が低調であったのは、利用者の中に要介護認定を受けて事業対象から外れた方がおられたことや、新たに介護保険の二次予防事業の対象となられた方について、介護予防事業のプログラム利用をお勧めする機会が多かったことなどによるものと考えております。なお、平成29年度から開始する新しい総合事業においては、数種類の通所介護事

業の設定を予定しており、当事業につきましては、今後、新事業への振り替えも検討いたしております。」「との答弁がありました。

また、「平成27年度に富海小・中学校へ校区外から転入学した児童・生徒7人について、遠方からの通学者はあるのか。また、7人全員に対し、通学費用の補助を実施したのか。」「との質疑に対し、「大道、小野などから通学する児童・生徒がおります。通学費用につきましては、保護者の送迎による通学者が1人おりましたことから、6人に対し、補助を行っております。」「との答弁がありました。

■一般会計(環境経済委員会所管)

「市税等の徴収業務については、コンビニエンスストアでの納付があるが、その収納額と効果についてはどうか。」「との質疑に対し、「収納額につきましては、平成25年度が約13億6千万円、平成26年度が約14億9千万円、平成27年度が約15億2千万円と増えており、効果が上がってきていると考えております。」「との答弁がありました。

また、「住宅・建築物耐震化促進事業については、木造戸建住宅の耐震診断における耐震診断員の派遣により診断件数は増えてきたが、まだまだ少ない状況にある。周知方法に、さらなる工夫が必要ではないか。」「との質疑に対し、「市広報やホームページ等でPRをしておりますが、文字が多く、分かりづらい点もあるかと考えておりますので、今後、見た目の分かりやすさに配慮するなど、工夫を努めてまいります。」「との答弁がありました。

■競輪事業特別会計

「競輪場施設整備基金に約3億5千万円を積み立てているが、今後の施設整備についてどのように考えているのか。」「との質疑に対し、「バンクにつきましては、今年度、改修の実設計を行い、来年度下期から工事に着手したいと考えております。また、メインスタンドにつきましては、来年度に耐震診断を実施し、その結果に基づいて、今後の方針を検討してまいります。」「との答弁がありました。

■国民健康保険事業特別会計

「特定健康診査・特定保健指導事業について、受診率が低い。今後、受診率を上げる対策をどのように進めていくのか。」「との質疑に対し、「現在、市広報でのお知らせや、医療機関、ショッピングモール等へのポスター掲示等を行っております。特定保健指導につきましては、平成27年度から、保健センターの職員が電話で直接、受診勧奨をしております。今後も引き続き、様々な対策を検討してまいります。」「との答弁がありました。

■採決の結果

「介護、医療、生活保護など、国の社会保障制度の改善を大筋において受け入れるものとなっていること、行政改革の推進により、職員数が削減されるなか、業務量は増大しており、技術職員の不足は深刻であること等、当初予算で反対した内容がそのまま執行されていることから承認できない。」「との反対意見がありました。

討論を終結し、挙手による採決の結果、賛成多数により承認されました。

上下水道事業決算特別委員会の報告

(9月5日開催)

■剰余金の処分

水道事業剰余金の処分について、及び公共下水道事業剰余金の処分については、執行部の説明をうりました。

■水道事業

「水道管の内、塩ビ管や鋳鉄管といった老朽管ほどの程度残っているのか。また、更新の予定はどのようになっているのか。」「との質疑に対し、「平成27年度末で、塩ビ管が47km、鋳鉄管が11km弱残っております。老朽管の解消につきましては、平成38年度を目途に行います。」「との答弁がありました。

「水道管の耐震化の進捗具合はどのようになっているのか。」「との質疑に対し、「平成27年度末現在、耐震化率は17.3%で、年間1.5%程度ずつ耐震化を進めております。市水道ビジョンでは、平成31年度に耐震化率20%を目標にしておりますが、現在の進捗状況でいけば、目標値を上回る見込みです。」「との答弁がありました。

■下水道事業

「下水道の有収率が平成26年度と比較し3.8%上がっているが、要因は何か。」「との質疑に対し、「下水道管の力メラ調査等を実施し、破損場所の修繕を進めたことで、地下水の流入量が減少した結果と考えております。」「との答弁がありました。

■採決の結果

賛成多数により承認されました。

総合交通体系調査特別委員会の報告

(8月15日開催)

市執行部からの説明の概要です。
■野島航路の現状と取組について
軽自動車を利用した移動販売に要する経費の一部助成。予備船の状況と予備船を新造する場合のスケジュール等。

■切畑デマンドタクシー、路線バス利用促進の状況について
デマンドタクシーは、聞き取りやアンケートから便数や乗降場所等を見直し。バス半額券及び半額手形の配布、サイクル&ライドの推進、山口大学線等を総合医療センターへ乗入れ。

■地域公共交通網形成計画(網形成計画)
地域全体の公共交通のあり方を決める公共交通のマスタープラン。平成29年度から策定に着手予定。防府駅北側のエリアで、既存の公共交通ネットワークの補完を目的として循環バス路線の実証運行を予定。

■高齢者等に対する外出支援策について
移動距離に応じたタクシー運賃の助成制度を創設し、更なる移動の足の確保。

■新たな提案(網形成計画)についての質疑
循環バスの本格運行の場合の事業費及び国からの補助額は、周辺部の公共交通の見直しは。

■答
ワゴン車1台での運行であれば、1千万円未満。補助額は、赤字額の2分の1。網形成計画を反映した再編実施計画を策定。市民全体が利用しやすい公共交通ネットワークとなるよう考えていく。

庁舎建設調査特別委員会の報告

(9月28日開催)

■基本構想・基本計画(案)の中間報告
駅北公有地エリアを建設候補地とした市庁舎建設基本構想・基本計画(案)の中間報告の説明を受けました。

■答
次の各章からなり、第4章の前半まで示されました。「第1章 新庁舎建設の必要性」、「第2章 建設候補地の選定」、「第3章 新庁舎とまちづくりの将来像」、「第4章 新庁舎の基本的な考え方」、「第5章 事業手法」、「第6章 今後の検討課題」

■主な質疑と要望
■問
駅北公有地エリアの東西方向の2本の市道が、庁舎建設により通れなくなつた場合、市道の付け替えが必要だ。手続として、区画整理や再開発などの事業手法を取る必要はないのか。

■答
そのような事業化は必ずしも必要ないと認識している。

■問
敷地集約手法の項目中に、今までの資料で明記されていない再開発や区画整理があるが、この方法を実施するのか。

■答
この方法を取った場合の時間や費用などの問題点を一般論として整理し、事業効果の検証を考えているが、章立てや項目の表現も含め、再考したい。

■要望
市民に分かりにくい表現や文言は、注釈や解説の明記をお願いしたい。

■今後の進め方
12月を目前に建設費等の想定などを盛り込んだ案を作成して議会にも示し、市民にパブリックコメントを求める。

教育厚生委員会所管事務調査

(9月10日開催)

■海洋民俗資料収蔵庫の整備
現在、英雲荘敷地内の収蔵庫において国指定重要文化財73点を含む製塩用具を保管しているが、建物の老朽化に伴い、新たに三田尻塩田産業記念公園内への建替えが予定されており、新収蔵庫の整備に関し、位置や仕様、整備工程等について執行部の説明がありました。

■委員からは、施設の塩害対策や既存の塩田公園管理棟との連絡、文化財の展示方法や活用等について質疑があり、施設は文化財の保存管理に適した設計になつており、セキュリティ対策を万全にしながら来館者の方にスムーズに見学していただけるような展示、施設運営を行っていくとする執行部の答弁がありました。

■宮市本陣兄部家保存整備事業
平成23年7月に消失した兄部家について、史跡の本質的価値を顕在化し、後世に伝えていくため、江戸時代の建物を復元整備することを目標とする整備事業の基本計画が策定されたことに伴い、整備事業の考え方や、具体的な整備内容、事業スケジュール等について執行部から説明を受けました。

■事業に対する国補助や復旧等の整備手法、周辺整備等に関する委員の質疑に対し、用地取得では8割、工事等については1/2の国補助があることや、復旧には火災の残存部材も活用すること、景観計画等とも連携した修景整備を行うこと等、執行部から答弁が行われました。

環境経済委員会所管事務調査

(8月28日開催)

■空家等対策計画素案及び空家等の適正管理に関する条例の改正素案
執行部との質疑は次のとおりです。

■問
空家等の相談件数、調査の結果は。

■答
新規の相談が8件、解決に至つたものが16件、現在127件を継続案件として抱えている。また、外観目視による調査で空き家と思われるものが1、538戸、特に不良度が高いE判定のものが42戸という結果になっている。

■問
データベースはできているのか？

■答
市で使っているGISに、位置図とその調査結果、写真等を画面上で確認できるように整備している。

■問
実態調査に当たって所有者の承認を得ずに写真撮影をされているが、プライバシーの侵害ではないのか。

■答
プライバシーの侵害に当たらない範囲での撮影をしている。

■問
危険な特定空家等の対策は。

■答
特定空家等という判断をすれば、法律に従って助言、指導、勧告、命令、代執行まで行う。

■問
空き家バンクの活用について

■答
積極的にPRをし、FMわっしょいへの出演、チラシを作って庁内で配布等をして一生懸命取り組んでいる。

■問
空き家対策の利活用に関して、庁内で連携されているが、その内容は？

■答
空き家バンクや各課が事業を行うときに、空き家の視点も持つてもらふことが大事である。

市議会の役割

地方自治の仕組み

・二元代表制・・・地方公共団体の長とその議会議員を、ともに住民が直接選挙で選ぶ制度
 (* 国の議院内閣制は、総理大臣を議員が選ぶことになっており、国民の直接選挙で選ばれたものではありません。)

市長と市議会の権限の違い

市長の権限	予算調製権・予算案提出権・予算の執行権・人事権など
市議会の権限	議決権・同意権・調査権など

市長は、どのような事業を行い、どの位の予算（税金）を分配するかを決める「予算調製権」「予算の執行権」、行政部の「人事権」など非常に強い権限を持っています。

対して市議会は、市長の政策・予算が適正なものになるようにチェックする機能を担保するために「議決権」を持っています。市長が無謀な政策を行おうとすれば止めることはできますが、「予算調製権」「予算の執行権」は持っていません。

市議会の役割

- ・市長から提出される予算・議案が適正か、市民生活の向上につながるかを審議し議決します。
- ・多様な民意の代表者である議員が、市民の声を政策や予算に反映させていきます。

市長と市議会の関係

- ・車のアクセル（市長・執行機関）とハンドル（市議会・議決機関）
- ・車の両輪

市議会は何故必要なのか

次のページの例に挙げたようなことが起こらないよう、市長・執行機関の政策・予算をチェックし、そこに、より多くの市民の声を反映させるためです。・・・チェック機能と政策提言機能

(参考)

○防府市の平成28年度予算に議員の一般質問による提案が反映された事業（抜粋）

- ・防犯灯の設置要件の緩和
- ・地区会館のバリアフリー化に係る改修の補助金要件の緩和
- ・高齢者外出支援事業の適用要件緩和
- ・中小企業振興事業の拡充
- ・中山間地域の振興への支援
- ・子育て応援サイトの開設
- ・福祉タクシー事業の拡充
- ・留守家庭児童学級開設時間の延長
- ・店舗リフォーム助成事業の拡充 など

* 過去の一般質問等の本会議の映像及び会議録は、防府市議会のホームページからご覧いただけます。

市民の声を政策・予算に反映させる方法

本会議での質疑や討論・一般質問・委員会での審議・政策討論会など

☆もしも市議会がなかったら・・・

・非常に強い権限を持つ、市長だけが市政のかじ取りを行うことになる・・・



今年度は1,000億円をかけて、〇〇市の大改造を行います。そのため不起債（借金）も行います。

例えば市長が、このような方針を示したとしたら



- ・そんなにお金をかけて大丈夫なの？
- ・子育て支援は、ちゃんとしてくれるの？
- ・介護サービスをもっと充実させるべきじゃないの？
- ・地域の災害対策はきちんと考えてるの？
- ・若い人の働く場所を確保する方が大切じゃないの？

市民がその方針に疑問を持って、チェックし、止めることができない。

☆議決権を持つ市議会があれば・・・



そのような予算は市民のためにならないから、考え直すべきだ。この予算案は否決する。市長には、市民生活向上に資するような予算案の再提出を強く求める！



第17回 山口県市議会議員研修会
 (8月17日 岩国市)
 地の岩国市民会館で行われました。
 当日の講演は、日本公認会計士協会公会計担当研究員 川口雅也公認会計士による「地方議会における公会計財務書類の更なる活用」、また午後からは、福田岩国市長による「岩国市文化芸術創造都市宣言について」、雅楽・ヴァイオリンとピアノによる演奏、そして、岩国ジャズストリートの橋本大吾実行委員長による「ジャズによるまちおこしについて」(ジャズ演奏の実演)と続きました。
 各市町村で環境や政策が異なる中、どう若者を巻き込んでまちづくりを進めて行くのかも考えさせられる研修内容でした。

山口県市議会議員研修会

・日時 平成29年1月6日(金) 12時～
 ・場所 本会議場
 ・入場料 無料



昨年の様子

ぜひ、小さなお子様と一緒にの方も、お気軽にお越しください。

市議会においても、市民の皆様が生のカラシク演奏に癒されるとともに、議会を身近に感じていただけるよう、平成26年から議場コンサートを開催しています。今回は、フルート、クラリネット、オーボエ、ファゴット、ホルンによる木管五重奏をお届けします。

第16回 防府音楽祭「ほうふニューイヤークンサート2017」のオープニング街角コンサートが、まちの駅「うめてらす」など市内9カ所で開催されます。オープニング街角コンサートは、音楽家自身が分かりやすく曲の解説をしたり、トークを交えながら進めていきますので、子どもから年配の方までどなたでも楽しめる内容になっています。

市議会においても、市民の皆様が生のカラシク演奏に癒されるとともに、議会を身近に感じていただけるよう、平成26年から議場コンサートを開催しています。今回は、フルート、クラリネット、オーボエ、ファゴット、ホルンによる木管五重奏をお届けします。

【お知らせ】

市議会議場でコンサート

第16回 防府音楽祭「ほうふニューイヤークンサート2017」のオープニング街角コンサートが、まちの駅「うめてらす」など市内9カ所で開催されます。

オープニング街角コンサートは、音楽家自身が分かりやすく曲の解説をしたり、トークを交えながら進めていきますので、子どもから年配の方までどなたでも楽しめる内容になっています。

議会日誌

8月

- 2日 議会改革推進協議会
- 3日 広報編集委員会
- 9日 全員協議会
- 10日 教育厚生委員会(所管事務調査)
山頭火ふるさと館検討協議会
- 15日 総合交通体系調査特別委員会
- 17日 山口県市議会議員研修会
- 22日 議会概要報告会
- 23日 環境経済委員会(所管事務調査)
- 26日 勉強会
- 29日 議会運営委員会

10月

- 3日 9月定例議会閉会
広報編集委員会
全員協議会
- 7日 教育厚生委員会(所管事務調査)
広報編集委員会
- 14日 広報編集委員会
- 21日 全員協議会

9月

- 1日 9月定例議会開会
広報編集委員会
- 5日 上下水道事業決算特別委員会
- 8日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)
議会運営委員会
- 15日 予算委員会(全体会)
- 16日 常任委員会・予算分科会(総務・教育厚生・
環境経済)
- 21日 一般・特別会計決算特別委員会(総務)
- 23日 一般・特別会計決算特別委員会(教育厚生)
- 26日 一般・特別会計決算特別委員会(環境経済)
- 27日 議会改革推進協議会
- 28日 予算委員会(全体会)
勉強会
庁舎建設調査特別委員会

12月定例議会の予定

- 12月 7日 本会議(開会)
- 12日 本会議(一般質問)
- 13日 本会議(一般質問)
- 14日 本会議(一般質問)
- 15日 本会議(一般質問)
- 16日 予算委員会(全体会)
- 19日 常任委員会・予算委員会分科会(総務・
*教育民生・*産業建設)
- 21日 予算委員会(全体会)
- 27日 本会議(閉会)
※11月27日からの名称です。

会議の開会時刻は、午前10時です。
なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

編集後記

防府市は、昭和11年8月25日の市制施行から本年で80周年を迎え、90周年、100周年に向け船出いたしました。新庁舎の建設を始め、様々な課題が山積しております。

市議会では、これまでも議会改革に取り組んでまいりましたが、更に資質の向上を図り、市民から信頼され、市民の声を実現できる、そうした衆望を担う議会を目指してまいります。

9月議会を終え、11月13日には、選挙権年齢が満18歳以上へ引き上げられて初の市議会議員一般選挙が行われます。そのため、左記メンバーで「ほうふ市議会だより」の編集を1年間担当しましたが、次号からは新体制となります。今後も、市民の皆様により分かりやすく見やすい紙面づくりに努めてまいります。

1年間ありがとうございました。

議会広報編集委員会

◎中林堅造 ○橋本龍太郎

三原昭治 山下和明

山田耕治 行重延昭

◎委員長 ○副委員長